

○計画期間:令和2年4月～令和7年3月(5年0月)

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和5年度終了時点(令和6年3月31日時点)の中心市街地の概況

本市では、第1期計画（平成22年11月～平成26年度）において、川西能勢口駅周辺の商業施設のリニューアル、イベントの実施などを行い、第2期計画（平成27年度～令和元年度）では、中央北地区特定土地区画整理事業によりキセラ川西せせらぎ公園、文化ホールや福祉・保健・公民館機能が連携した複合施設、民間の大型商業施設などのキセラ川西地区の整備を進めてきた。第3期計画では、川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区の回遊性の向上や、働く場所や魅力的な場所を増やすことで様々な人が活躍する中心市街地を創造し、持続可能なにぎわいにつなげることを目標としている。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことで、再び日常的なにぎわいを生み出し、経済活動を重ね、まちのプレイヤー同士のつながりづくりや発掘を促進し、市民が主体となってまちのにぎわいを作り出す動きが求められ、ソフト・ハード両面において様々な取組を展開した。

ソフト事業では、令和4年度に引き続き、川西能勢口駅の南側ペDESTリアンデッキをイベント活用する社会実験を8回開催した他、他主体によるデッキ活用イベントも24回行われ、パブリックスペース活用の動きが広がってきている。また、令和5年度から駅前中心市街地活動拠点の運営も始まり、市民の活動や交流が盛んに行われ、新たな事業が生まれるきっかけとなっている。

ハード事業では、JR川西池田駅-阪急川西能勢口駅連絡橋屋根更新工事事業が完了し、歩行者の快適な通行と安全性を向上させ、中心市街地全体の回遊性が向上した。これにより、居住人口、地価ともに顕著に上昇しており、今後においても居住や出店ニーズの高まりが期待される。

しかしながら、コロナ禍において、阪急川西能勢口駅東口のアミューズメント施設や雑貨店、飲食店などの大型テナントが撤退し、その後も空きテナントの状況が続いており、計画策定時に想定していなかったにぎわい喪失の影響を大きく受けている。

引き続き、川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区を合わせた中心市街地のにぎわいづくりを推進するため、新規出店や起業家の支援、交流拠点の運営により多くの人々が活躍するまちとしての魅力を高めるとともに、清和源氏まつりの開催や各商業施設、イベント主催者などとの連携により回遊性の向上を図る。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

(基準日：毎年度3月31日)

(中心市街地 区域)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
人口	8,769	8,763	9,116	9,124	9,164	
人口増減数	-32	-6	353	8	40	
自然増減数	-57	-46	-41	-65	-68	
社会増減数	33	32	415	111	175	
転入者数	395	403	674	493	514	

(2) 年間販売額 (小売業)

(単位：百万円)

(中心市街 地区域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
市全体	133,905	133,905	133,905	133,905	133,905	131,272	
中心市街地	45,645	45,645	45,645	45,645	45,645	43,667	

※最新値である「経済センサス活動調査 (令和3年度)」より。

(3) 商店数 (小売業)

(単位：件)

(中心市街 地区域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
市全体	655	655	655	655	655	629	
中心市街地	192	192	192	192	192	204	

※最新値である「経済センサス活動調査 (令和3年度)」より。

(4) 事業所数 (宿泊業・飲食サービス業)

(単位：件)

(中心市街 地区域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
市全体	502	502	502	502	502	424	
中心市街地	144	144	144	144	144	123	

※最新値である「経済センサス活動調査 (令和3年度)」より。

(5) 地価

(単位：円/㎡)

(中心市街 地域)	平成30年度 (基準値)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
相 続 税 路線価平均	—	—	238,750	247,500	258,750	265,000	
アステ川西 東 側	340,000	380,000	420,000	440,000	450,000	460,000	
県道12号線 川西市役所 西交差点北	210,000	215,000	235,000	240,000	245,000	250,000	
川西市役所前 交 差 点 北	165,000	170,000	185,000	185,000	185,000	190,000	
豊川橋山手線 (オアシス タウン南)	—	—	115,000	125,000	155,000	160,000	
地価公示平均	359,000	394,000	430,000	448,500	463,000	475,000	
川 西 5 - 1	445,000	500,000	550,000	575,000	593,000	607,000	
川 西 5 - 4	273,000	288,000	310,000	322,000	333,000	343,000	

※調査基準日：各年1月1日、公表：地価公示 3月下旬、相続税路線価：7月1日

※豊川橋山手線（オアシスタウン南）の相続税路線価：平成30年度及び令和元年度は路線価算定対象外。

2. 令和5年度 of 取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

令和5年度、中心市街地活性化協議会では、関係団体等と協議・調整を重ねながら、様々な提案や実施を行った。

令和5年度は、JR川西池田駅-阪急川西能勢口駅連絡橋屋根更新工事事業が完了し、歩行者の快適な通行と安全性を向上させ、中心市街地全体の回遊性が向上した。この影響が地価の上昇にもつながっているとみられ、今後、来街者・居住人口ともに増加が予想される。

中心市街地空き店舗等出店支援補助金では、複数の飲食店・小売店の魅力の向上を支援し、コワーキングスペース開設支援補助金では中央町内に立地する施設の運営を支援した。これらの取り組みにより中心市街地への来街目的が増加し、まちの魅力が向上している。

歩行者・自転車通行量（休日）は、全体で見ると令和4年度から微増となった。地点別にみると「駅前ピクニックマルシェ」と題して当協議会主催で社会実験を計8回開催したことや、他主体によるデッキ活用イベントが行われたこともあり、川西能勢口駅南の歩行者デッキでは、通行量が本計画期間で最高値を記録した。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による行動様式の変化が見られ、基準値の水準まで回復していない地点もある。

また、コロナ禍において、阪急川西能勢口駅東口のアミューズメント施設や雑貨店、飲食店などの大型テナントが撤退し、その後も空きテナントの状況が続いており、計画策定時に想定していなかったにぎわい喪失の影響を大きく受けている。令和6年度から7年度にかけて駅前周辺の民間マンションの建設や商業施設内広場のリニューアルが予定されていることから、人流の変化・通行量の増加が見込まれる。

今後、当協議会や中活事業の実施体制の再構築を進め、地域の事業者・商業施設・関係団体・市民の参加促進と連携強化を図り、まちなぎわいの創出、商業の活性化に取り組む。

II. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
恒常的なにぎわいが生まれる持続可能なまちを創造する	歩行者・自転車通行量(休日)	44,177人/日 (H30)	46,547人/日 (R6)	45,894人/日 (R5)	B	①	②
	中心市街地の居住人口の社会増	126人/年 (H27-30平均)	194人/年 (R2-6平均)	183人/年 (R2-6平均)	B	①	②
魅力ある場所や、活躍する人が生まれるまちを創造する	新規起業者数	4人/年 (H30)	22人/年 (R6)	4人/年 (R5)	C	①	②
	新規出店数	5店/年 (H30)	23店/年 (R6)	37店/年 (R5)	A	①	①

<基準値からの改善状況>

A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない

<目標達成に関する見通しの分類>

①目標達成が見込まれる ②目標達成が見込まれない

※関連する事業等の進捗状況が順調でない場合はそれぞれ1、2とする。

2. 目標達成見通しの理由

「新規出店数」は、中心市街地空き店舗等出店支援事業の効果もあり、令和4年度に引き続き、新規出店数が増加し、目標値を大きく上回った。令和6年度も継続して各事業を実施することで新規出店数は増加すると見込んでいる。

一方で、みつなかホールの水損事故や民間マンションの建設及びコロナ禍におけるコワーキングスペース利用者層の変化による「起業者のコミュニティ化」が進んでいない状況であり、現状のままでは「歩行者・自転車通行量(休日)」、「中心市街地の居住人口の

社会増」、「新規起業者数」の目標達成が見込まれないと考える。

3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

「歩行者・自転車通行量（休日）」については、新型コロナウイルスの蔓延が本格化した2020年以降から続く建設工事費・建築資材費の急激な価格高騰により、民間マンションの建設が進んでいない状況や、みつなかホールの水損事故など想定していない事象の発生が大きく影響し、現状のままでは目標達成が見込まれない。

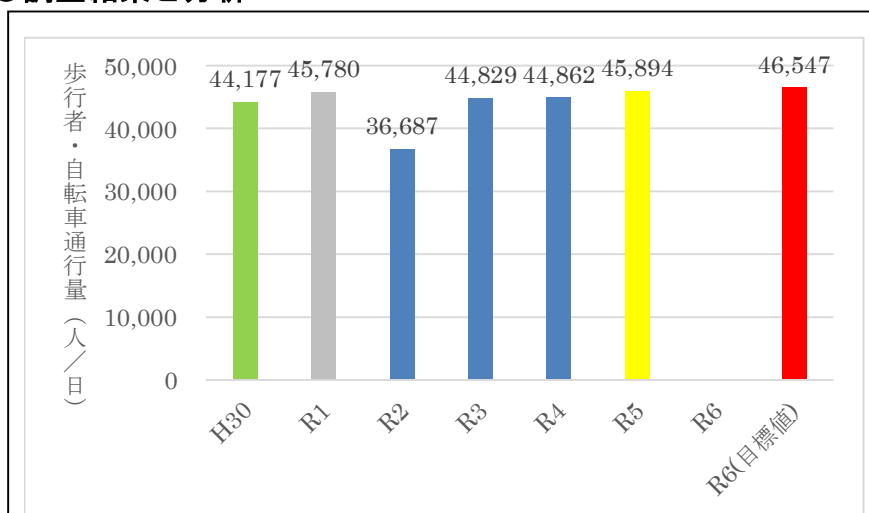
「中心市街地の居住人口の社会増」については、中心市街地で見込まれている民間マンションの建設が進んでおらず、目標達成に向けては一定期間状況を把握する必要があると考えられるため、現状のままでは目標達成が見込まれない。

「新規起業者数」については、コロナ禍におけるイベント実施の制限や利用者層の変化により、コワーキングスペースの整備当初に想定されていた「起業をめざしている者のコミュニティ化」が進んでいない状況であることから、現状のままでは目標達成が見込まれない。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「歩行者・自転車通行量（休日）」※目標設定の考え方認定基本計画 P.75～P.79 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	44,177 人/日 (基準年値)
R1	45,780 人/日 (計画前年度)
R2	36,687 人/日
R3	44,829 人/日
R4	44,862 人/日
R5	45,894 人/日
R6	46,547 人/日 (目標値)

※調査方法：歩行者・自転車通行量調査

※調査月：毎年10月実施

※調査主体：川西市中心市街地活性化協議会

※調査対象：中心市街地における休日6地点の歩行者及び自転車数

【歩行者・自転車通行量調査地点】



(単位：人)

	平成30年度 (基準年)	令和元年度 (計画前年度)	令和2年度 (1年目)	令和3年度 (2年目)	令和4年度 (3年目)	令和5年度 (4年目)	令和6年度 (5年目)
地点①	11,120	11,220	9,162	10,800	10,629	10,869	
地点②	20,924	20,547	17,751	22,803	23,247	24,579	
地点③	2,039	2,718	2,832	3,135	2,973	2,370	
地点④	1,934	2,847	2,544	3,117	2,922	2,733	
地点⑤	—	—	1,953	1,251	1,371	1,029	
地点⑥	—	—	2,445	3,723	3,720	4,314	
合計	36,017	37,332	36,687	44,829	44,862	45,894	

※地点⑤、地点⑥は令和2年度から新たに追加したため、平成30年度と令和元年度は空白。

〈分析内容〉

歩行者・自転車通行量の増加に向けた各事業の進捗は、概ね予定どおり進んでいる。
歩行者・自転車通行量の合計は令和4年度と比較すると微増しているが、目標値を下回る数値となり、目標達成が見込めない状況となった。

地点①のアステ川西南側の歩行者デッキでは、微増しているが、コロナ禍による行動様式の変化の影響もあり、コロナ禍以前の数値である基準値の水準まで戻っていない状況である。

地点②の川西能勢口駅南の歩行者デッキでは、デッキ上で音楽や食事、雑貨販売を行う社会実験「駅前ピクニックマルシェ」の定期的な実施で来場者が着実に増加して滞留を生んでおり、令和4年度の数値より上昇し、本計画期間で最高値を記録した。

地点⑥のキセラ川西プラザ北側歩道では令和4年度の、(仮称)市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業及び道路整備事業2事業が完了しており、生活インフラの充実が、通行量の増加にもつながっている。

しかし、地点③・④・⑤は令和4年度より大きく減少しており、目標達成が見込めない大きな要因となった。

主な要因としては、民間マンションの建設が進んでいない状況やみつなかホールの水損事故など想定していない事象の発生が大きく影響していると考えられる。

令和5年度以降の民間マンション建設の動向や大規模商業施設のリニューアルオープンの動向などインフラの充実による居住人口及び来街者の増加を一定期間把握する必要があると考える。

上記の結果より目標達成が見込めない状況となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 51：グリーンスローモビリティ導入事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	川西能勢口駅周辺とキセラ川西地区の回遊性向上を図るために、グリーンスローモビリティの運行について検討する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】640人増加 【最新値】現在算定0人増加 令和4年度は、まちなか滞留実感調査（インタビュー調査）を行った結果、約75%が無料なら利用する又は利用しないと回答し、現状ニーズが低い。
事業の今後について	市内公共交通に係る検討と協調して進める必要があるため、地域公共交通計画の策定に合わせて、中心市街地の回遊性のための交通のあり方を検討し、効果的な交通施策の実現を目指す。

②. 6：(仮称)市立総合医療センターキセラ川西センター整備事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和2年度～令和4年度【済】 [認定基本計画：令和2年度～令和4年度]
事業概要	将来にわたり、市民に安心して安全な医療を提供していくため、市北部から市立川西病院を移設する。その結果としてキセラ川西地区の都市機能が増進することで、安心して暮らせるまちを創造する。
国の支援措置名及び支援期間	公立病院の再編・ネットワーク化に関する財政措置（総務省）（令和2年度～令和4年度） [認定基本計画：公立病院の再編・ネットワーク化に関する財政措置（総務省）（令和2年度～令和4年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】2,700人増加 【最新値】現在算定623人増加 令和2年度からキセラ川西地区にて建築工事を施工し、令和4年9月に開院した。
事業の今後について	指定管理者とともに、小児・周産期・救急医療などの政策医療を担うとともに、質の高い医療の提供を行う。

③. 10：花屋敷団地建替事業（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和4年度【済】
事業概要	老朽化が進む花屋敷団地の建て替えを行い魅力的な景観など、住環境を向上させることで、新たな居住者が入居し、定住人口の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業））（国土交通省）（令和元年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 $(60 \text{ 戸} \times 2.42 \text{ 人}) \times 48.1\% \times 3 \times 2 \div 420 \text{ 人増加}$ 【最新値】 $83 \text{ 戸} \times 2.42 \text{ 人} \times 48.1\% \times 3 \times 2 \div 579 \text{ 人増加}$ 当初の計画通り、令和4年度に2次本移転が完了し、10月末に竣工した。
事業の今後について	計画通り令和4年度で事業が完了した。今後は、空室の入居を進め、居住者の増加によるにぎわいの創出に寄与する。

④. 11：民間マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の未利用地に民間のマンションが整備されることで、中心市街地の居住人口の増加を図り、にぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】 $(80 \text{ 戸} \times 2.42 \text{ 人}) \times 48.1\% \times 3 \times 2 \div 560 \text{ 人増加}$ 【最新値】 $(112 \text{ 戸} \times 2.42 \text{ 人}) \times 48.1\% \times 3 \times 2 \div 782 \text{ 人増加}$

	キセラ川西地区での民間マンションの建設はいったん落ち着き、令和5年度は中心市街地に新たに完成した民間マンションは0棟であった。
事業の今後について	キセラ川西地区の民間マンションの建設はいったん落ち着いたものの、中心市街地の地価の上昇にも反映されているように、中心市街地の土地としての価値は上昇しており、今後も順次民間マンションの建設が見込まれる。

⑤. 25：藤ノ木さんかく広場北側ポケットパーク活用事業（民間事業者、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	藤ノ木さんかく広場と隣接しているポケットパークを道路管理者と連携し、広場の利用と合わせて一体的に活用することで相乗的なにぎわい創出を図る。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】1,200人増加 【最新値】基準年比地点③331人+地点④799人=1,130人増加 藤ノ木さんかく広場北側ポケットパークの活用を検討するためのイベントを1回実施し、延べ参加者数は800人であった。また、北側ポケットパークを活用したイベント実施を、より円滑かつ効果的に行うため、北側ポケットパークを認定道路区域外とした。このことにより普通財産として藤ノ木さんかく広場とより一体的に活用できるようになった。
事業の今後について	藤ノ木さんかく広場北側ポケットパークが普通財産となったことで、藤ノ木さんかく広場とより一体的な活用が可能となり、大規模なイベントの受け入れも見込まれる。今後は企業への利用促進や市民の日常利用など、幅広い利活用を目指す。

⑥. 24:ペDESTリアンデッキにぎわい活用事業（民間事業者、中心市街地活性化協議会）

事業実施期間	令和元年度～【実施中】
事業概要	歩行者は多いもののこれまで有効活用されていなかった川西能勢口駅と駅前商業施設をつなぐ道路空間で道路管理者と連携し、にぎわいイベントを実施することで、周辺施設への集客や来街者の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】500人×2地点×2回≒2,000人増加 【最新値】基準年比地点①▲251人+地点④799人=548人増加 川西市中心市街地活性化協議会が「駅前ピクニックマルシェ」などの路上イベントを12件の道路占用許可を受けて開催した。また、募集したイベント実施団体や民間事業者、7団体が24件の道路占用許可を受けてイベントを開催することができた。 また、平日5日間「川西駅前ピクニックテラス」を実施し、ドリンクスタンドを設置することでデッキの日常的な滞留を促した。
事業の今後について	令和5年度は、川西市中心市街地活性化協議会が「駅前ピクニックマルシェ」を計5回開催予定である。また、さらなる賑わいの拡大・定着を図るため、単独出店を試行するなど、新たな活用の裾野を拡げる。 さらに、今後のペDESTリアンデッキでのイベント開催について、道路管理者と「路上イベントに関するガイドライン（案）」策定するため、引き続き協議を進めていく。

⑦. 3:都市計画道路豊川橋山手線整備事業（川西市）

事業実施期間	平成26年度～令和4年度【済】
事業概要	キセラ川西地区から絹延橋を結ぶ道路及び歩道の拡幅に合わせ、踏切拡幅することで、通行の安全確保とキセラ川西地区へのアクセス向上を図り、中心市街地全体の回遊性向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））（国土交通省）（平成26年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和2年度比地点⑥1,869人増加 過年度に引き続き、道路拡幅工事を実施した。令和4年7月に工事を完了し、供用開始した。
事業の今後について	近隣小学校への通学路として、通学児童の安全を確保するとともに、キセラ川西地区への接続道路として、まちの活性化に寄与する。

⑧. 4:市道 1313 号（日高町地内）改良事業（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和 4 年度【済】
事業概要	市道 1313 号の道路拡幅を行うことで、歩行者等の快適な通行と安全・安心な空間を創出することで、中心市街地の交通環境を整える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業）（国土交通省）（令和 2 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点⑤▲924 人増加 過年度に引き続き、歩道整備工事を実施した。令和 4 年 9 月の市立総合医療センターの開院に合わせて、工事を完了した。
事業の今後について	市立総合医療センターへのアクセス道路として来院する方の安全確保及び緊急車両等の円滑な交通の確保を担う。

⑨. 5:市道 3 号（中央町地内）改良事業（川西市）

事業実施期間	平成 25 年度～令和 6 年度【実施中】
事業概要	都市計画道路鶴之荘花屋敷線の歩道整備を行うことで、歩行者等の快適な通行と安全・安心な空間を創出することで、中心市街地の交通環境を整える。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（道路事業（街路））（国土交通省）（平成 30 年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点③▲462 人増加 過年度に引き続き、道路拡幅工事を実施した。令和 5 年 3 月に工事を完了した。
事業の今後について	令和 5 年度は未整備区間の用地交渉を行い、事業用地の確保に努める。

⑩. 55:清和源氏まつり（清和源氏まつり実行委員会、川西市観光協会、川西市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	本市の歴史的な観光行事「清和源氏まつり」をキセラ川西せせらぎ公園など中心市街地において実施することで、中心市街地ににぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 2 年度～令和 6 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】令和 2 年度比地点③▲462 人増加 観覧者数：21,000 人 (R4 年 4 月開催時実績 20,000 人)

事業の今後について	今後も継続してせせらぎ公園での出店やステージイベントを開催し、観覧者数の増加と中心市街地でのにぎわいの創出を目指す。
-----------	--

⑪. 60: 駅前中心市街地活動拠点整備運営事業（川西市中心市街地活性化協議会、川西市）

事業実施期間	令和4年度【済】
事業概要	川西能勢口駅前の市民トイレを改修し、活動拠点を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（令和4年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和4年度に川西能勢口駅前にある市民トイレを改修し、中心市街地のイベント情報の集約・発信やプレイヤーの活動拠点とする整備事業が完了した。
事業の今後について	活動拠点を運営し、中心市街地内の各活動の活性化を図る。また、ペDESTリアンデッキにぎわい活用事業と連携し、相乗的なにぎわい創出を図る。

⑫. 61: JR 川西池田駅-阪急川西能勢口駅連絡橋屋根更新工事（川西市）

事業実施期間	令和5年度【済】
事業概要	JR 川西池田駅から阪急川西能勢口駅を結ぶ連絡橋の屋根を新しく更新することで、歩行者の快適な通行と安全性を向上させ、中心市街地全体の回遊性向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地再活性化特別対策事業（総務省）（令和5年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	令和5年度に屋根更新工事を実施し、令和5年12月に工事を完了した。
事業の今後について	令和6年度は適切な維持管理に努める

●目標達成の見通し及び今後の対策

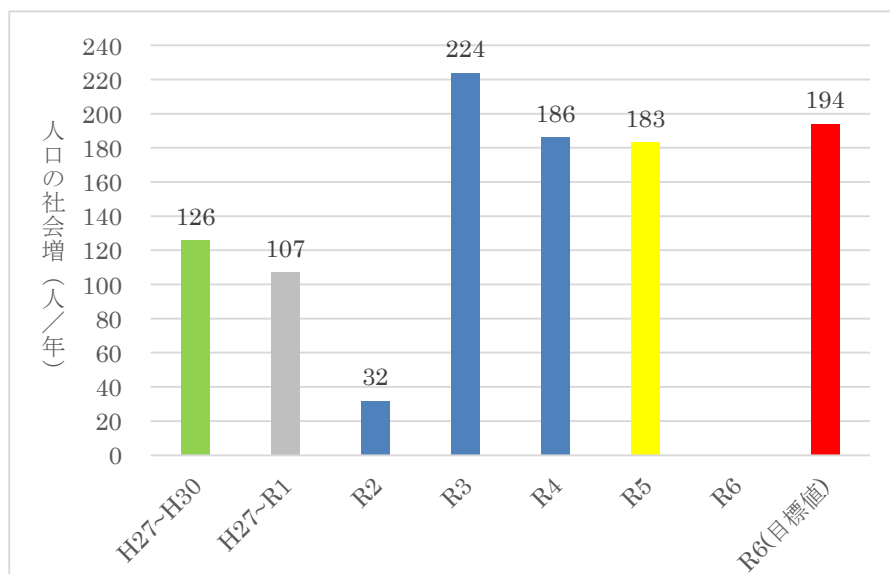
歩行者・自転車通行量の増加に向けた事業について、主要事業は概ね予定通り進んでいるが、歩行者・自転車通行量の合計は目標値を下回る数値となり、目標達成が見込めない状況となった。

主な要因としては、民間マンションの建設が進んでいない状況やみつなかホールの水損事故など想定していない事象の発生が大きく影響していると考えられる。

今後は、令和5年度以降の民間マンション建設の動向や大規模商業施設のリニューアルオープンの動向などインフラの充実による居住人口及び来街者の増加を一定期間動向を確認する必要があると考える。

(2)「中心市街地の居住人口の社会増」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 80～P. 81
参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	126 人/年 (H27~H30 平均) (基準年値)
R1	107 人/年 (H27~R1 平均) (計画前年度)
R2	32 人/年 (R2~R6 平均)
R3	224 人/年 (R2~R6 平均)
R4	186 人/年 (R2~R6 平均)
R5	183 人/年 (R2~R6 平均)
R6	194 人/年 (R2~R6 平均) (目標値)

※調査方法：住民基本台帳データから毎年度の人口社会増を集計

※調査月：毎年3月31日現在

※調査主体：川西市

※調査対象：中心市街地エリア

〈分析内容〉

中心市街地の居住人口の社会増に向けた各事業は、予定通り進んでいるが、令和5年度は人口の社会増は令和4年度より減少し、目標値を下回る数値となった。対象10地域を地域別に分けて傾向をみると、火打1丁目が最も大きな社会増を計上しており、令和3年度に民間マンションが9棟完成したことが主要因と考えられる。しかし、中心市街地全域でみると、民間マンションの建設が進んでおらず、人口の社会増は目標値に対して未達だった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 10:花屋敷団地建替事業 (川西市)

事業実施期間	令和元年度～令和4年度【済】
事業概要	老朽化が進む花屋敷団地の建て替えを行い魅力的な景観など、住環境を向上させることで、新たな居住者が入居し、定住人口の増加を図る。
国の支援措置名及び支援期間	社会資本整備総合交付金（地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業））（国土交通省）（令和元年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】60戸×2.42人≒146人 【最新値】83戸×2.42人×48.1%×3×2≒579人増加

	当初の計画通り、令和4年度に2次本移転が完了し、10月末に竣工した。
事業の今後について	計画通り、令和4年度で事業が完了した。今後は、空室の入居を進め、居住者の増加によるにぎわいの創出に寄与する。

②. 11：民間マンション建設事業（民間事業者）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の未利用地に民間のマンションが整備されることで、中心市街地の居住人口の増加を図り、にぎわいを創出する。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】80戸×2.42人≒194人 【最新値】112戸×2.42人≒271人 キセラ川西地区での民間マンションの建設はいったん落ち着き、令和5年度は中心市街地に新たに完成した民間マンションは0棟であった。
事業の今後について	キセラ川西地区の民間マンションの建設はいったん落ち着いたものの、中心市街地の地価の上昇にも反映されているように、中心市街地の土地としての価値は上昇しており、今後も順次民間マンションの建設が見込まれる。

③. 7：川西北幼稚園・川西北保育所の一体化施設整備（川西市）

事業実施期間	令和元年度～令和3年度【済】
事業概要	質の高い教育・保育サービスを提供するため、川西北幼稚園と川西北保育園の一体化を進め、幼保連携型認定こども園を整備することで、子育て世代を中心市街地に呼び込み、定住人口の増加をめざす。
国の支援措置名及び支援期間	学校施設環境改善交付金（令和2年度～）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】目標積算記載なし 【最新値】まちなか滞留・実感調査 令和2年度比 「ここで暮らしてみたいと感じる」6.5%増加 令和4年4月1日より、川西市立川西北こども園（幼保連携型認定こども園）を開設することができた。
事業の今後について	本一体化施設整備については完了となったが、子育て世代の利用を促進し、定住人口の増加に努めていく。

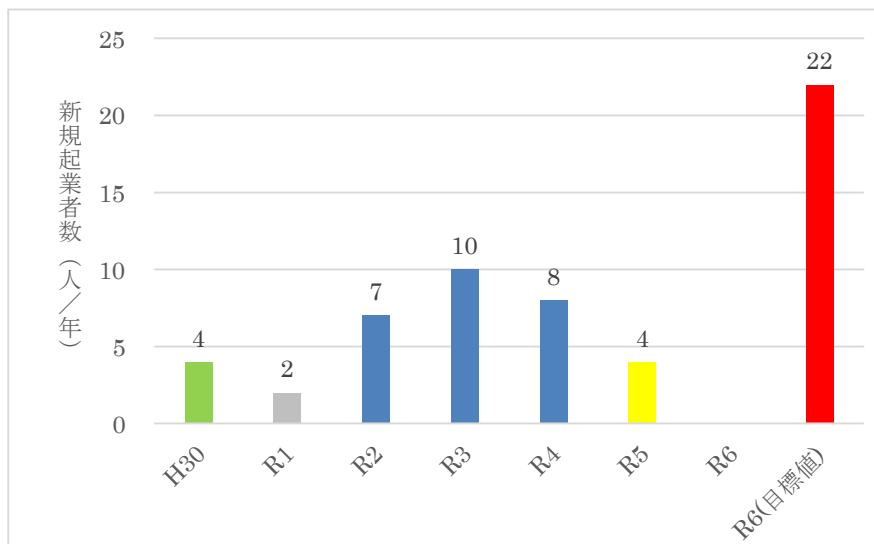
●目標達成の見通し及び今後の対策

人口の社会増に向けた主要事業は予定通り進捗しており、令和4年度に花屋敷団地建替事業が完了し、今後も順次居住者へ引き渡されることで、花屋敷1丁目の市内転居者

の増加が見込まれる。また、令和5年度の中心市街地で完成した民間マンションは5棟であり、中心市街地の地価の上昇にも反映されているように、土地としての価値は上昇しており、今後も順次民間マンションの建設が見込まれ、引き続き転入者が増加することが予想される。しかし、中心市街地で見込まれている民間マンションの建設が進んでおらず、目標達成に向けては一定期間状況を把握する必要があると考える。

(3) 「新規起業数」 ※目標設定の考え方認定基本計画 P. 82～P. 83 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	4人 (基準年値)
R1	2人 (計画前年度)
R2	7人
R3	10人
R4	8人
R5	4人
R6	22人 (目標値)

※調査方法： 経済センサスによる調査、市及び市商工会での聞き取り調査

※調査月： 毎年3月31日現在

※調査主体： 川西市

※調査対象： 中心市街地エリアにおける小売業及び宿泊・飲食サービス業で新規に起業した者

〈分析内容〉

コワーキングスペース運営支援事業及び中心市街地空き店舗等出店支援事業等で支援を行うことにより、新規起業者を着実に輩出しているが、令和4年度から続く原油価格高騰によるガス・電気料金の上昇や原材料等の高騰等の要因で、新規起業者数は年々減少傾向にある。新規起業者数は目標値の半数以下の数値に留まり、基準年値を下回る結果となった。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 21:コワーキングスペース運営支援事業 (民間事業者、川西市)

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	起業をめざしている者や既に起業している者などが集まれる場を提供することで、市内での起業を増やすなど、まちに新たな仕事を創出し、中心市街地の活力向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金 (内閣府) (令和2年度～令和3年度)

事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】利用者数 500 人×想定企業割合 2%=10 件 【最新値】1189 人×2%=23 件 令和 5 年度は令和 3 年度に「コワーキングスペース開設支援事業」として採択した事業者に、家賃や人件費、通信回線使用料の一部を補助を行い、コワーキングスペースの運営を支援した。
事業の今後について	令和 6 年度も引き続き家賃等の費用の一部を補助することで、当スペースの運営を支援し、起業者の増加や継続・発展の場の充実につなげるとともに、補助金終了後の安定的な施設運営に向けて事業者と協議を行う。

②. 13: 中心市街地空き店舗等出店支援事業（川西市）

事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、開店の支援を行うとともに、事業が継続できるよう家賃の一部の補助を行うことで、中心市街地に魅力的な店舗を呼び込む。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 2 年度～令和 6 年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】出店支援対象者＝年間 3 件 【最新値】新規出店者＝年間 1 件 中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後 6 か月経過後から 1 年分の家賃の一部を補助する「中心市街地空き店舗等出店支援補助金」を実施し、5 件の事業者を採択し、補助を実施した。
事業の今後について	引き続き中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後 6 か月経過後に 1 年分の家賃の一部を補助し、新規起業者数の増加につなげていく。

③. 14: 中心市街地起業者支援事業（川西市）

事業実施期間	令和 2 年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で新たに起業する者、起業間もない者に対し、セミナーの実施や、悩み相談などのフォローアップを行うことで、事業継続への支援を行い、まちで活躍する人を育成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和 2 年度） [認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和 2 年度～令和 6 年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】起業塾参加者 20 人×25%=5 件 【最新値】3 件 オンラインを活用したセミナーを中心に、14 名の塾生がセミナーを通じて起業に必要な知識を身に付けた。また起業入門セミナーは、女性限定でなく、男性も対象とすることで、性別に関係なく起業希

	望者の支援を行った。
事業の今後について	引き続き起業セミナーを開催し、起業を希望する者の支援を行っていく。また、過去の塾生を対象としたスキルアップセミナーやフォローアップ面談を行うことで、新規起業者の増加につなげていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

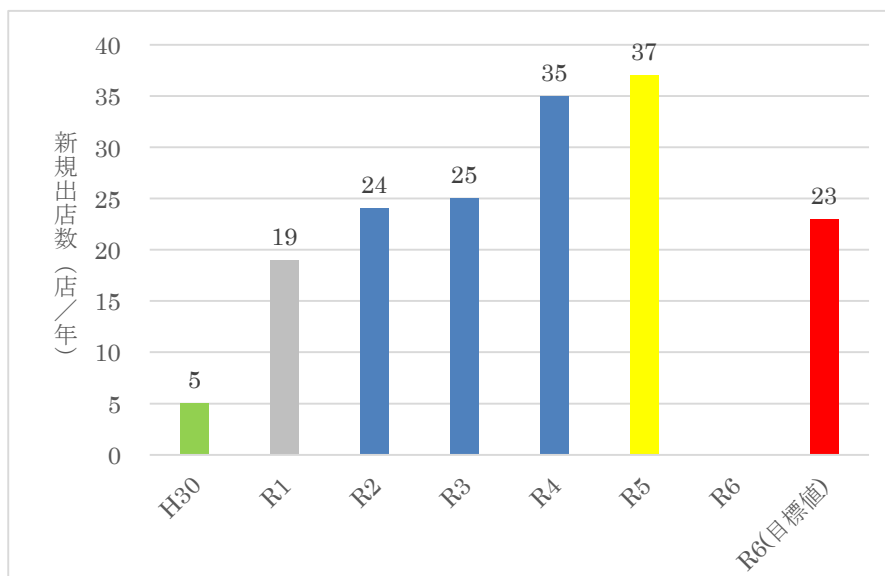
中心市街地空き店舗等出店支援事業を実施し、中心市街地区域内において1件の新規店舗の工事費及び5件の家賃を補助した。また、市や商工会で実施した起業支援事業セミナーを通じて3人の新規起業者が誕生した。

しかしながら、コロナ禍におけるイベント実施の制限により、コワーキングスペースの整備当初に想定されていた「起業をめざしている者のコミュニティ化」が進んでいない状況である。また、人の生活様式の変化によって、コワーキングスペースの利用者はフリーランスの方からテレワークの方へと遷移しており、上述のコミュニティ化は更に困難を窮めること等から、現状のままでは目標達成が見込まれないと考える。

今後の対策として、令和6年度の中心市街地活性化協議会事業で予定されている「まちの学び舎かわにし」において、まちのプレイヤーの発掘・コミュニティ化を促進し、新規起業者数の底上げに繋げる。さらに、コワーキングスペースとの連携事業等の事業化を検討する。

(4)「新規出店数」※目標設定の考え方認定基本計画 P. 84～P. 85 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H30	5店 (基準年値)
R1	19店 (計画前年度)
R2	24店
R3	25店
R4	35店
R5	37店
R6	23店 (目標値)

※調査方法：川西市商工会及び川西市中心市街地活性化協議会への聞き取り調査及び目視調査

※調査月：毎年3月31日現在

※調査主体：川西市

※調査対象：中心市街地エリアにおける小売業及び宿泊・飲食サービス業で新規に出店した者

〈分析内容〉

中心市街地空き店舗等出店支援事業や中心市街地起業者支援事業の効果もあり、令和4年度に引き続き、新規出店数が増加し、目標値を大きく上回った。令和6年度も継続して各事業を実施することで新規出店数は増加すると予想される。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①. 21: コワーキングスペース運営支援事業（民間事業者、川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	起業をめざしている者や既に起業している者などが集まれる場を提供することで、市内での起業を増やすなど、まちに新たな仕事を創出し、中心市街地の活力向上を図る。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和2年度～令和3年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】利用者数500人×想定企業割合2%=10件 【最新値】1189人×2%=23件 令和5年度は令和3年度に「コワーキングスペース開設支援事業」として採択した事業者に、家賃や人件費、通信回線使用料の一部を補助を行い、コワーキングスペースの運営を支援した。
事業の今後について	令和6年度も引き続き家賃等の費用の一部を補助することで、当スペースの運営を支援し、起業者の増加や継続・発展の場の充実につなげるとともに、補助金終了後の安定的な施設運営に向けて事業者と協議を行う。

②. 13: 中心市街地空き店舗等出店支援事業（川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地の空き店舗に出店する事業者に対し、開店の支援を行うとともに、事業が継続できるよう家賃の一部の補助を行うことで、中心市街地に魅力的な店舗を呼び込む。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】出店支援対象者＝年間3件 【最新値】新規出店者＝年間1件 中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後6か月経過後から1年分の家賃の一部を補助する「中心市街地空き店舗等出店支援補助金」を実施し、5件の事業者を採択し、補助を実施した。
事業の今後について	引き続き中心市街地に小売業や飲食店の店舗を新規に出店しようとする事業者に対して、改装費や開店後6か月経過後に1年分の家賃の一部を補助し、新規起業者数の増加につなげていく。

③. 14: 中心市街地起業者支援事業（川西市）

事業実施期間	令和2年度～【実施中】
事業概要	中心市街地で新たに起業する者、起業間もない者に対し、セミナーの実施や、悩み相談などのフォローアップを行うことで、事業継続への支援を行い、まちで活躍する人を育成する。
国の支援措置名及び支援期間	地方創生推進交付金（内閣府）（令和2年度） [認定基本計画：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（令和2年度～令和6年度）]
事業目標値・最新値及び進捗状況	【事業目標値】起業塾参加者 20 人×25%=5 件 【最新値】3 件 オンラインを活用したセミナーを中心に、14 名の塾生がセミナーを通じて起業に必要な知識を身に付けた。また起業入門セミナーは、女性限定でなく、男性も対象とすることで、性別に関係なく起業希望者の支援を行った。
事業の今後について	引き続き起業セミナーを開催し、起業を希望する者の支援を行っていく。また、過去の塾生を対象としたスキルアップセミナーやフォローアップ面談を行うことで、新規起業者の増加につなげていく。

●目標達成の見通し及び今後の対策

中心市街地空き店舗等出店支援事業により、小売業、飲食業の出店支援したことで、目標を大きく上回る 37 件の新規出店があった。令和 6 年度は、市広報誌や SNS の活用、商工会等関係施設との連携などによって、各事業の周知を進めながら継続して実施することで、更なる増加につなげていく。